

株式会社ソルクシーズ様

SuperStream



株式会社ソルクシーズ

会社概要

▼事業内容

・金融業界に強いシステムインテグレータとして、受託ソフトウェア開発ならびにセキュリティコンサルティング、会計パッケージ、勤怠管理ソフトウェアなどを提供。グループ会社10社とともに業態に応じた専門店戦略を展開。

▼従業員数

479名 (2009年1月1日現在)

▼本社

東京都港区芝5-33-7

▼URL

<http://www.solxyz.co.jp/>

▼導入プロダクト

SuperStream-CORE (基幹会計システム)

SuperStream-AP+ (支払管理システム)

SuperStream-AR+ (債権管理システム)

SuperStream-HR+ (人事管理システム)

SuperStream-PR+ (給与管理システム)

導入パートナー

株式会社ソルクシーズ

「原価管理と連動することでプロジェクト単位の損益まで可視化」

導入の背景

拡大を続ける事業基盤の強化へ

生命保険会社や証券会社など金融業界に特化したソフトウェアの受託開発を中心に、セキュリティコンサルティングや勤怠管理パッケージなどを販売しているソルクシーズ。事業基盤の強化を目的としたM&Aや業務提携を積極的に行っている同社は、2008年にはデジ

タルサイネージ事業へ参入するなど、次世代を担う専門技術を持った企業を次々と傘下に収めている。そんな同社が財務会計システムの刷新を計画したのが2006年のことだった。

導入前の課題

財務会計基盤の再構築で必要不可欠な「原価管理との連動」

順調に売上を伸ばしている同社が新たに財務会計システムの刷新を計画したのは、これまで活用していたパッケージが老朽化を迎え、すでに新たな時代の要求に対応できない状況だったからだ。そこで新たな財務会計システムを検討することになった同社だが、受注申

請や請求管理などすでに運用している様々なシステムとの連動性はもちろん、これまで行ってきたプロジェクト単位での原価管理が行える仕組みが新たな財務会計システムにも必要不可欠だった。

SuperStreamの選定ポイント

豊富なインターフェース提供とDB公開が柔軟な連携を可能に



吉政 裕氏
株式会社ソルクシーズ
情報化推進部長

た。」(吉政 裕氏)

つまり、財務会計を原価管理と連動させることでプロジェクトごとに損益が可視化できる仕組みが同社には必要だった。

最終的に製品選定を行う過程で選んだのが、統合業務パッケージ「SuperStream」。決め手

「選定ポイントは、プロジェクト単位の原価管理に財務会計システム側が柔軟に対応できるかどうかです。工数を入力する勤怠管理システムから原価管理システムへのデータ投入、そのデータを財務会計システムに取り込む一

となったのは、支払管理や債権管理など豊富なインターフェースが予め用意されており、新たな開発を最小限に抑えることができること。また、SuperStreamはデータベースが公開されており、新たに開発したシステムとの連携がスムーズに行えることも製品選択の大きなポイントだった。

同社は12年前からSuperStreamの販売パートナーであり、外販部隊であるソリューション部が開発サポートに加わることでスムーズな開発が期待された部分もある。豊富な実績に裏付けられた信頼性や製品を熟知していることによる開発コストの軽減など、新たな財務会計基盤をSuperStreamで構築することのメリットは、十分理解していたともいえる。

